

令和2年度 学校評価

選択肢 ①「そう思う」 … 4点 ②「どちらかというと思う」… 3点
 ③「どちらかというと思わない」… 2点 ④「そう思わない」 … 1点
 で計算して、平均点を示してあります。

	重点目標	教育アンケート項目	子ども			学校評価	関係者評価
			子ども	保護者	職員		
確かな学力の育成	基礎基本の習得	子どもたちは宿題や家庭学習にすすんで取り組んでいる。	3.3	3.0	3.6	A	A
		子どもたちはおはなしタイムで自分の考えを言うことができる。	3.2		3.2		
	子どもたちは、読書活動にすすんで取り組んでいる。	3.3	2.8	3.5	A		
	子どもたちは(教師は)授業で課題や問題にすすんで取り組んでいる。 学校は、体験や見学を取り入れ、地域の教育力を積極的に活用している。	3.3	2.9	3.2			
豊かな心の育成	温かい学級集団づくり	子どもたちは楽しく学校に通っている。	3.3	3.3	3.4	A	A
	異年齢集団の充実	子どもたちは、異学年ともかかわり、協力して活動できる。	3.4	3.2	3.4	A	
	基本的な生活習慣の定着	子どもたちはあいさつができる。	3.4	3.0	2.8	B	
		子どもたちはきまりや時間を守り、規則正しい生活をしている。 子どもたちは、そうじを黙って真剣に行うことができる。	3.1	2.9	3.0		
命を大切に する子ども の育成	道徳教育の充実	子どもたちは自分や友達、周りの人、生き物の命を大切にしている。	3.7	3.5	3.2	A	A
	危機回避・対応能力の向上	子どもたちは、交通事故、けが、不審者にあわないように気をつけて、生活できる。	3.7	3.3	3.6	B	
		子どもたちは、火事や地震が起きたとき、どのようにしたらいいか知っている。	3.8		3.3		
		学校は、遊具・施設など安全整備が行き届いている。	3.1	3.2	3.0		
		ゲーム、SNSやメール等の使用について、家族で話し合っ て決めたルール(使い方や時間)がある。 家庭で話し合っ て決めたルール(使い方や時間)について、子どもは守っている。	3.1	3.3			
信頼され、魅力ある教職員 集団をめざして	教師の力量向上	授業力アップと子に 応じた支援を意識し、力量向上に努めている。			3.1	A	A
		子どもたちは困ったこと や悩みを相談でききる。(学校は 悩みに対応している)	2.9	3.1	3.4		
		子どもたちが、「授業が 分かる」と言っている。	3.4	3.0	3.2		
		学校は、子どものよ いところや努力したことをよく 見ている。	3.2	3.2	3.4		
	懇談会や通信、お 子さんの話などで学校の様 子を知ることができる。		3.2				
人間関係づくり	学年や組織で対 応し、連携を図っている。			3.5	A		

- 「確かな学力の育成」では、子どもや保護者、教職員ともに評価が上がっている項目が多い。学校では、「思考が絡み合い、深まる授業づくり」をテーマに教職員が研修を行ってきた。課題を共有し、指導を心掛けてきた成果が出始めていると考える。
- 業前活動の「おはなし村」では、図書ボランティアの方による読み聞かせを行っている。図書ボラさんが来られない期間には、担任による読み聞かせを行い、子どもたちの読書に対する関心を高めてきた。
- 長い休業期間や新型コロナウイルス感染症対策で教育活動に制限があるが、楽しく学校に来ることができている児童が9割近くいる。
- 児童会の「こんにちはポイントキャンペーン」をきっかけに学校内での挨拶の声徐徐に響くようになった。登下校でも誰もが明るい挨拶ができるように家庭との連携して指導していきたい。
- 今年度、ネットゲームでのトラブルについていくつか相談があった。学校と家庭とが共通理解できるように、「すぎやまっ子の約束～ネットモラル編～」を作成した。
- 保護者の意見に、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためとはいえ、運動会や野外教育活動が中止になったのは、残念。代わりに行事を組んでほしい」とあった。各学年でクラスマッチを企画し、実施したが、それを保護者に参観していただく機会にするべきであったと反省している。
- 自由記述の中に、部活動に関するものが寄せられている。豊橋市では、令和3年度から小学校の運動部を行わないことによる体力の低下を心配する声が上がっている。基本的な生活習慣を見直したり、体育的活動を充実させたりして、家庭との連携を図っていききたい。